



SMIBY COMPACT

スマイビー コンパクト

取扱説明書

この取扱説明書は「スマイビー コンパクト」の取扱い上の注意点について書いてあります。

ご使用前に必ずお読みください。

また、読まれた後は大切に保管してください。

この度は「スマイビー コンパクト」をお買い上げ賜り、誠にありがとうございます。
させていただきます。

「スマイビー コンパクト」はA型コンパクトベビーカーです。赤ちゃんと一緒に
お出かけされる場合のベビーカーとして安全性・軽便性に抜群の性能を
備えており、皆様方に必ずお喜びいただけるものと確信しています。

当社は赤ちゃんの健やかな成長を願って、きめ細かな心くばりによる設計、
製品作りに取り組んでいます。赤ちゃんのお健やかな成長をお祈りするととも
に、当製品を永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 ジェー・ティー・シー
〒599-8238
大阪府堺市中区土師町 3-32-38
お客様相談室 TEL(072)276-6306
受付時間
9:00～12:00/13:00～17:00
(祝祭日以外の月～金)
<http://www.jtc-japan.com>

1. 安全にご使用していただくためのご注意

重大な障害・事故につながる恐れがありますので、必ず下記の注意事項をお守りください。

ご使用いただけるお子様 —— 生後1カ月～36カ月以内のお子様。
ただし体重は15kg未満。
望ましい連続使用時間 —— 2時間以内（ただし背もたれを立てた状態での使用に関しては1時間以内）



警告 守らなければ重大事故につながる恐れがあります。

1. お子様の健康への影響を考慮して、連続使用は2時間以内にとどめてください。
ただし背もたれを立てた状態での使用に関しては1時間以内にとどめてください。
2. ご使用前に必ず各部に緩み、破損等がないことを確認してください。もし緩み・破損等がある場合はそのまま使用せず、当社にご相談ください。
3. シートベルト・肩ベルトはP5「シートベルトの使用方法」を参考に、正しい方法で必ず着用してください。
4. 肩ベルトはお子様の体格に合った状態に調節してください。肩ベルトが長すぎる状態にしておくと、首に巻きついたりする危険性がありますのでご注意ください。
5. お子様をベビーカーのシートの上に絶対に立たせないでください。転倒し、ケガの原因になります。
6. ベビーカーのハンドルに荷物等を掛けしないでください。荷物をハンドルに掛けると、車体が後方に倒れやすくなり、ケガの原因となります。また、車体に過度な負担がかかり、故障の原因となります。
7. ベビーカーにお子様を乗せたまま、持ち上げての移動はしないでください。急に折りたたまれて、手指を挟んだり、ケガの原因になります。
8. お子様を乗せているときには、特にストッパーを過信しないでください。構造上・機能上・耐久性において、自動車のブレーキのような完全なものではありません。
9. ベビーカーを折りたたむ時、お子様が車体に触れていると、折りたたみ部分に手指を挟んだりすることがあります。お子様が車体に触れている時に、開閉操作をすることは絶対にしないでください。
10. ベビーカーは電車などの公共機関での利用において、十分安全性を確保できるものではありません。
電車などの公共機関でのご利用時は、各公共機関の案内など規定を守り、お客様の責任において安全に注意してご利用ください。
11. 雷が発生している時は使用しないでください。落雷に遭う恐れがあります。
12. お子様を乗せたままエスカレーターでの使用はおやめください。思わぬ事故の原因になります。エスカレーターに乗るときは必ずベビーカーは折りたたんでください。
13. 安全のためセーフティーガードは取り外さずにご使用ください。
14. お子様の体重が15kg以上になった場合は、ベビーカーの使用は中止してください。



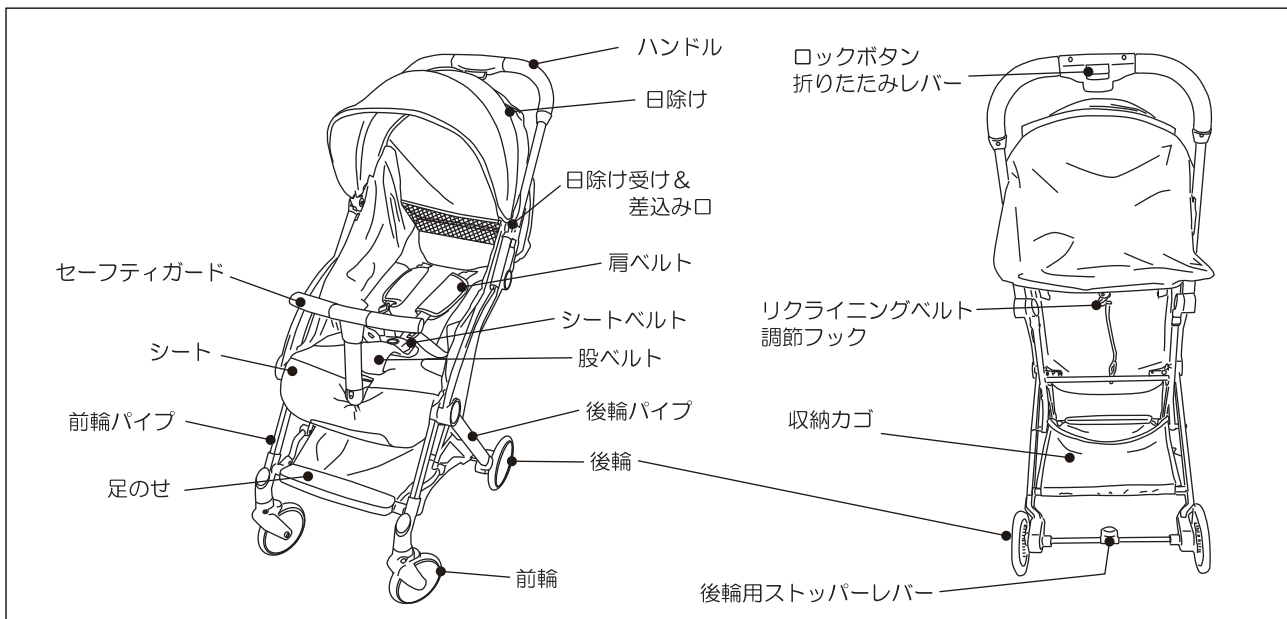
注意 守らなければケガ・故障の原因となります。

1. お子様を乗せる前に、必ずストッパーをかけて、車輪を固定してください。
2. シートベルトを締めていても、お子様が立ち上がったりの場合がありますので、お子様の動作には十分ご注意ください。
3. ベビーカーには2人以上一緒に乗せたり、シート以外の所に乗せたりしないでください。
4. 市販されている2人乗り用の器具を使用するのはお避けください。車体に過度の負担がかかり、故障の原因になります。
5. ベビーカーを人混みの中で使用する時は、他の人に当たったりしないよう十分ご注意ください。
6. 路上に放置するときには、絶対にお子様を置き去りにしないでください。
7. お子様を乗せていない時でも、ベビーカーを坂道や車道に近い歩道上などの危険な場所に放置しないでください。
8. 線路を渡る時は、線路のわだちに車輪がはまり込まないようにご注意ください。
9. ベビーカーを直射日光の下に放置したり、炎天下の中で車のトランクに放置したりすると、ベビーカーの車体が高温になり、火傷をしたりすることがあります。ご注意ください。
10. ベビーカーのガードの上に荷物などを置いたり、お子様を乗せたりしないでください。ガードの破損の原因となります。
11. お子様を乗せていなくてもベビーカーのガードを持っての持ち運びはしないでください。ガードの破損の原因となります。

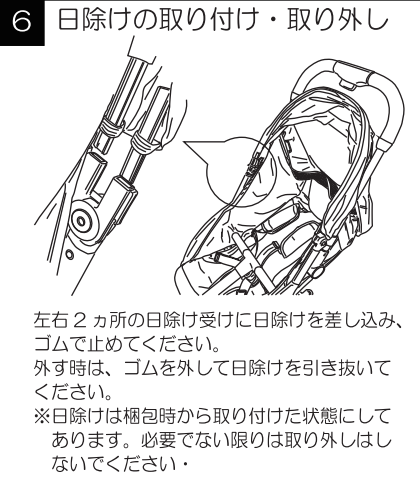
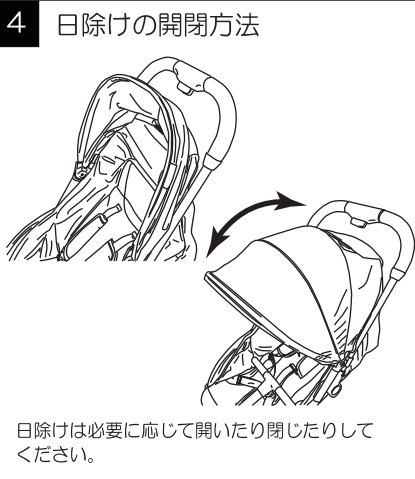
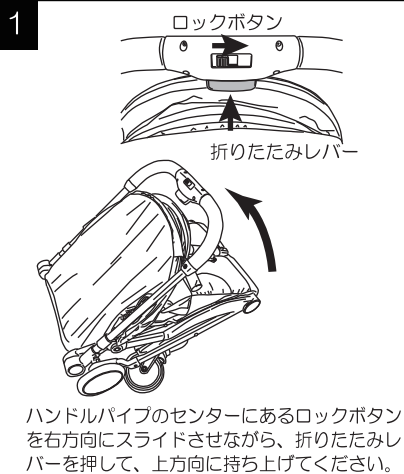
安全のための日常の点検・管理について

1. 長時間使用を繰り返すことにより、各部が消耗劣化する恐れがありますので、ご使用前には必ずシートベルトや各フレーム、車輪などに異常がないかを確認して下さい。
2. 使用中に車輪など各部から異常音が発生したり、車輪の回転が重くなったりした場合は、直ちに使用を中断し、各部に異常がないかを点検してください。
3. 過度の荷重や衝撃が加わった場合、また破損・異常を発見した場合は、直ちに使用をおやめください。
4. ぬかるみや砂場など悪路での使用はおやめください。車輪が回らなくなったり、各部の異常音の原因になります。
5. ベビーカーを雨等で濡れたままにしておくと、錆が発生し強度が弱くなる原因になります。濡れたりした場合は、必ず水分を拭き取るようにしてください。日頃のお手入れが、安全性保持の要因です。

2. 各部の名称



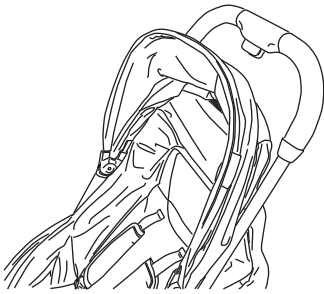
3. 開き方



⚠️ ベビーカーを開くとき、お子様が傍にいて、車体に触れていると指等を挟んでケガをする危険があります。十分にご注意下さい。

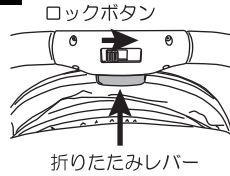
4. 折りたたみ方

1

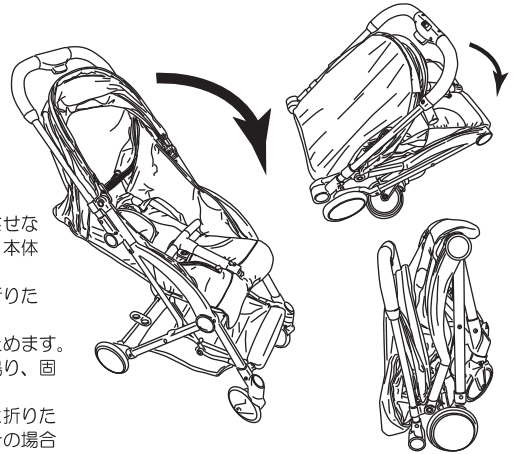


日除けを折りたたんでください

2



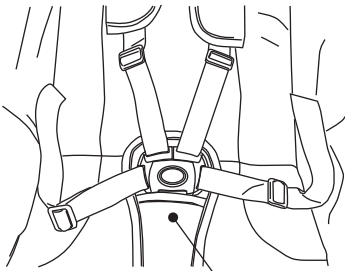
ロックボタンを右方向にスライドさせながら、折りたたみレバーを押して、本体を前方向に折り込んでください。シートはリクライニング状態でも折りたたみは可能です。セーフティガードは自動で折りたためます。折りたたみボタンがカチッと音が鳴り、固定されれば完了です。前輪がまっすぐ前を向いた状態だと折りたたみができない場合があります。その場合は前輪を横に向けていただくと折りたたむことができます。



折りたためば自立します。

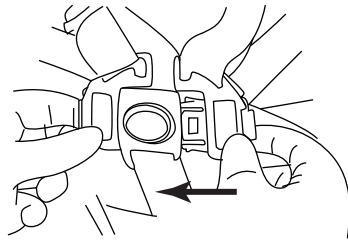
⚠ ベビーカーを折りたたむ時、お子様が傍にいて車体に触れていると指等を挟んでケガをする危険があります。十分にご注意ください。

5. シートベルトの使用方法



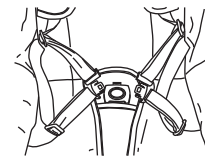
ボタン

シートベルトは前のボタンを押すと外れます。バックルをはめる時は一つずつカチッと音が鳴るまで差し込んで下さい。このシートベルトは5点式です。

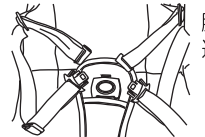


カチッと音が鳴るまで確実に差し込んで下さい。バックルは必ず真横から差し込んで下さい。斜めから差し込むと破損の原因となります。

⚠ シートベルトはお子様が無意識に抜け出さないよう長さに調節してご使用下さい。



腰ベルトを外した状態



腰ベルトと肩ベルトの連結について

腰ベルトと肩ベルトは分離することはできませんが、必ずセットしたままでご使用ください。



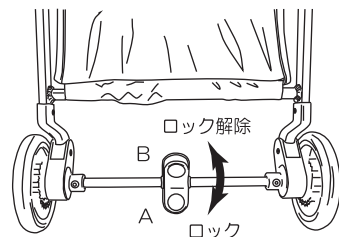
シートベルトをしていてもお子様がベルトから抜け出すことがあります。お子様から絶対に手を離さないでください。



肩ベルトが長すぎるとお子様の首に巻きついたりして大きな事故の原因となります。肩ベルトは必ず適切な長さに調節してからご使用下さい。

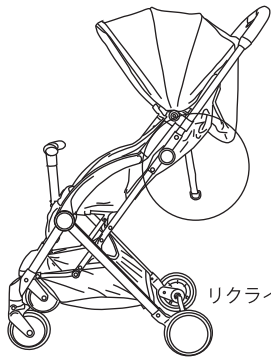
6. ストッパーの使用方法

後輪の車軸のセンターの後輪用ストッパーレバーを図のようにA部分を下に足で下げると、後輪がロックされて、停車することができます。解除する時は、B部分を前方に押してください。



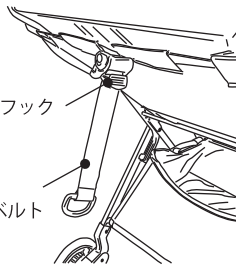
お子様を乗せている時には、ストッパーを過信しないで下さい。自動車のブレーキのような完全なものではありません。

7. リクライニングの方法



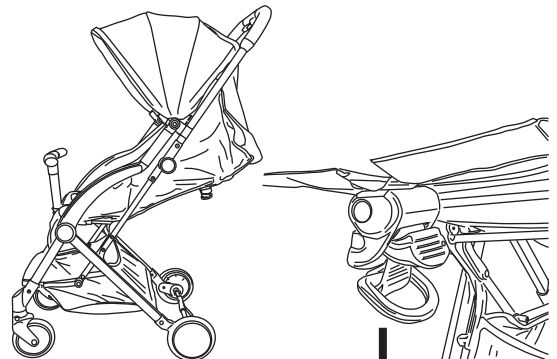
調節フック

リクライニングベルト



背もたれの倒し方

シートの後ろについているリクライニングベルトの調節フックをつまんで好みの角度まで倒してください。



背もたれの起こし方

シートを起こす時は、リクライニングベルトの先に付いているリングを持って、調節フックをつまんで上に押し上げてください。

引く



※リクライニング操作をする時は急激にはしないで、ゆっくりと取り扱ってください。

8. 日常点検について

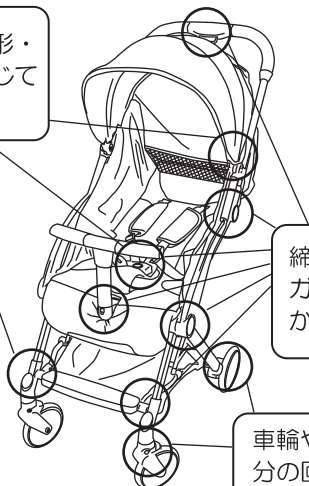
寿命を過ぎたベビーカーを使用し続けると、思わぬ事故が発生する場合があります。

ベビーカーは各国の安全基準に適合・準拠した商品であっても、長期間の使用や環境により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで破損に至ることがあります。特に2人目のお子様、他人からの譲り受け等によるご使用は、寿命を超えている場合があります。寿命はメーカーや機種に加えて、使用状況や保管状態により異なりますが、新規購入時から使用対象月齢期間までが目安です。

安全で安心な育児のために、寿命内であっても、日頃からのご注意と点検をお願い致します。

下記の点を中心に全体をチェックしてください。

本体や部品に変形・割れ・ヒビが生じていないか



締結部分にゆがみやガタが生じていないか

車輪やキャスター部分の回転が悪くなっていないか

9. 製造物責任保険について

弊社は、製品の品質については絶対の自信を持っていますが、消費者の皆様が正常に使用されておられた時に、万一製品の欠陥により事故が発生し、皆様の身体に損害をおかけした場合、その損害を補償するため保険会社と提携して「製造物責任保険」の契約をしています。

万一事故が発生した場合は、直ちに弊社にご連絡ください。